

保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査 **病院用**

※回答の際には、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。( )内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴院の状況(平成18年10月現在)についてお聞きします。

開設主体 ※1つだけ選択	1. 国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等)		
	2. 公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等)		
	3. 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等)		
	4. 法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等)		
	5. 個人		
所在地(都道府県)	( ) 都・道・府・県	病床数	( ) 床
一日平均外来患者数 ※平成18年10月	( ) 人	事務職員数(常勤換算)	( ) 人

※事務職員とは、主に医療事務に携わる職員全てを指します。  
 ※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は整数(小数点以下四捨五入)でお答えください。  
 ■1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)  
 ■1ヶ月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1ヶ月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

(2) 領収証(個別の費用ごとに区分して記載されているもの)の発行状況についてお聞きします。

発行開始時期	※合計金額のみの領収証ではなく、個別の費用ごとに区分して記載されている領収証の発行開始時期をご記入ください	平成 昭和	( ) 年 ( ) 月
発行の方法	1. プリンタで出力して発行    2. 手書きで発行    3. 1.と2.の両方		
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来	( ) 件	入院 ( ) 件
平成18年9月までの発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行していた    2. 体制が未整備のため発行していなかった 3. 体制は未整備だが求めがあれば(手書きで)発行していた 4. その他( )		

(3) 患者さんから求めがあったときに発行に努めることとされている「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」についてお聞きします。貴院ではこの明細書を発行していますか。

1. 発行している	2. 発行していない
質問(4)へお進みください	次ページの質問(5)へお進みください

(4) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行している施設にお聞きします。

明細書の発行に関する患者さんへの周知方法 ※複数回答可 ※( )および( )に回答した方は、( )内に貼っている場所あるいは掲示している場所の数を記入ください	1. 待合室に明細書を発行している旨のポスター等を貼っている .....▶ 貼っている場所 ( ) 箇所 2. 支払い窓口で明細書を発行している旨を掲示している .....▶ 掲示している場所 ( ) 箇所 3. 来院者にチラシ等を配布している 4. 特に何も周知していない 5. その他 ( )
具体的な周知内容 ※複数回答可	1. 明細書と領収証の違いが分かるように両者の見本などを示している 2. 明細書の具体的な内容を示している 3. 特に何も周知していない 4. その他 ( )

前ページから続きます

発行開始時期	平成 昭和	( ) 年 ( ) 月		
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来	( ) 件	入院	( ) 件
発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行している 2. 希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している 3. 希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある 4. その他 ( )			
発行方法 ※1つだけ選択	1. レセプトと同じものを発行している 2. 専用の様式を作成し発行している 3. 手書きで発行している 4. その他 ( )			
費用徴収の方法 ※徴収している場合は、徴収方法(複数回答可)および金額についてもお答えください	1. 費用を徴収していない 2. 費用を徴収している .....▶ <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1件ごとに徴収している⇒ ( ) 円/件</li> <li>2. 項目ごとに徴収している⇒ ( ) 円/項目</li> <li>3. その他 ( )</li> </ul>			
IT化の状況	医事会計システム導入の有無	1. あり    2. なし		
	オーダーリングシステム導入の有無	1. あり    2. なし		

(5) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない施設にお聞きします。

※前ページの(3)で「2.発行していない」と回答した施設のみご記入ください。

明細書を発行しない理由 ※複数回答可	1. 事務負担が大きい    2. 希望する患者さんが少ない 3. 発行できる体制が整っていない(職員がいない) 4. 発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる) 5. その他 ( )			
今までに患者さんから明細書の発行を求められたことはあるか ※1つだけ選択	1. 頻繁にある    2. たまにある 3. ほとんどない    4. まったくない			
今後の方針 ※1つだけ選択	1. 発行する予定はない 2. 患者さんからの希望があれば発行する 3. 未定 4. その他 ( )			

(6) 領収証や明細書の発行について、ご意見等がございましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査 **診療所用**

※回答の際には、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、( )内には具体的な数値、用語等をご記入ください。( )内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴院の状況(平成18年10月現在)についてお聞きします。

開設法体 ※1つだけ選択	1. 国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等) 2. 公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等) 3. 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等) 4. 法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等) 5. 個人		
所在地(都道府県)	( )都・道・府・県	施設区分 ※有床の場合は病床数も記入	1. 無床診療所 2. 有床診療所⇒( )床
1日平均外来患者数 ※平成18年10月	( )人	事務職員数(常勤換算)	( )人

※事務職員とは、主に医療事務に携わる職員全てを指します。  
 ※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は整数(小数点以下四捨五入)でお答えください。  
 ■1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)  
 ■1ヶ月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1ヶ月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

(2) 領収証(個別の費用ごとに区分して記載されているもの)の発行状況についてお聞きします。

発行開始時期 ※合計金額のみの領収証ではなく、個別の費用ごとに区分して記載されている領収証の発行開始時期をご記入ください	平成 昭和 ( )年( )月
発行の方法	1. プリンタで出力して発行    2. 手書きで発行    3. 1.と2.の両方
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 ( )件    入院 ( )件
平成18年9月までの発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行していた    2. 体制が未整備のため発行していなかった 3. 体制は未整備だが求めがあれば(手書きで)発行していた 4. その他( )

(3) 患者さんから求めがあったときに発行に努めることとされている「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」についてお聞きします。貴院ではこの明細書を発行していますか。

1. 発行している	2. 発行していない
-----------	------------

質問(4)へお進みください      次ページの質問(5)へお進みください

(4) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行している施設にお聞きします。

明細書の発行に関する患者さんへの周知方法 ※複数回答可 ※1および2に回答した方は、( )内に貼っている場所あるいは掲示している場所の数を記入してください	1. 待合室に明細書を発行している旨のポスター等を貼っている .....▶ 貼っている場所 ( )箇所 2. 支払い窓口で明細書を発行している旨を掲示している .....▶ 掲示している場所 ( )箇所 3. 来院者にチラシ等を配布している 4. 特に何も周知していない 5. その他 ( )
具体的な周知内容 ※複数回答可	1. 明細書と領収証の違いが分かるように両者の見本などを示している 2. 明細書の具体的な内容を示している 3. 特に何も周知していない 4. その他 ( )

前ページから続きます

発行開始時期	平成 昭和 ( )年( )月		
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 ( )件	入院 ( )件	
発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行している 2. 希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している 3. 希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある 4. その他 ( )		
発行方法 ※1つだけ選択	1. レセプトと同じものを発行している 2. 専用の様式を作成し発行している 3. 手書きで発行している 4. その他 ( )		
費用徴収の方法 ※徴収している場合は、徴収方法(複数回答可)および金額についてもお答えください	1. 費用を徴収していない 2. 費用を徴収している .....▶ 1. 1件ごとに徴収している⇒( )円/件 .....▶ 2. 項目ごとに徴収している⇒( )円/項目 .....▶ 3. その他 ( )		
IT化の状況	医事会計システム導入の有無	1. あり	2. なし
	オーダーリングシステム導入の有無	1. あり	2. なし

(5) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない施設にお聞きします。

※前ページの(3)で「2.発行していない」と回答した施設のみご記入ください。

明細書を発行しない理由 ※複数回答可	1. 事務負担が大きい    2. 希望する患者さんが少ない 3. 発行できる体制が整っていない(職員がいない) 4. 発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる) 5. その他 ( )
今までに患者さんから明細書の発行を求められたことはあるか ※1つだけ選択	1. 頻繁にある    2. たまにある 3. ほとんどない    4. まったくない
今後の方針 ※1つだけ選択	1. 発行する予定はない 2. 患者さんからの希望があれば発行する 3. 未定 4. その他 ( )

(6) 領収証や明細書の発行について、ご意見等がございましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。